

棒ノ折山山行報告

【山行日】 2014年 11月 30(日)

晴のち曇り

【集 合】 古河市梶内宅 AM 5:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,500円

【メンバー】 CL:鈴木、 梶内、大西、
島田、関、福田、藤原、渡辺

【コースタイム】梶内宅 5:00=さわらびの湯P

6:50/7:05~白谷沢登山口 7:40~

白孔雀ノ滝 8:40~岩茸石 9:20~

棒ノ折山 10:00/10:20~岩茸石 10:50~

滝ノ平尾根ベンチ 11:20/11:55~さわらびの湯P 13:15=古河市梶内宅 16:00

奥武蔵の棒ノ折山を計画し、ミニ沢登りと名残の紅葉を楽しんできた。名栗湖の下にある「さわらび



の湯」の駐車場に車を置き登山口に向かう。駐車場を出て左に進み、名栗湖に向かって登って行く。天気は最高で、ダム上からの景色は真っ青な空に紅葉が映え素晴らしい。

ロックフィルダムの有間ダムの上を対岸に渡り、名栗湖沿いの車道を辿ると、白谷沢出合に着く。

白谷沢の橋を渡った所に道標があり、左へ杉林の中を登って行く。斜面を高巻いて登って行くが、所々に紅葉が残り目を楽しませてくれる。やがて沢音が聞こえてくると、二段10mの藤懸ノ滝の上

で沢に降りる。沢を登る前に休憩をとり、リンゴやコーヒーゼリーでエネルギーを補給した。

沢の中を登って行くと、兩岸の岩が狭まって白谷沢核心部のゴルジュが始まる。FさんやSさんK氏はとても楽しいと喜んでいる。ロープや鎖場もスイスイ登り、最後の白孔雀ノ滝を登ると核心部は終



わり穏やかな流れになる。沢に沿って少

し登ると林道を横切り、左折して対岸の斜面に取りつく。

左へ巻くように登ると、尾根上に出て滑りやすい尾根を頑張って登ると岩茸石に着く。このころから青空が





見えなくなり、雲が多くなってきた。岩茸石からゴンジリ峠までは木段交じりの急登が連続する。ゴンジリ峠で右に折れ、尾根道をゆるやかに登り、やがて急登になり開けてくると頂上に着いた。頂上からは奥武蔵の山々や、日光連山、谷川連峰などが見えるはずだが、曇ってしまい近くの山しか眺望は得られなかった。広い山頂の真ん中のベンチに陣取り、ティータイム。K氏が持参した有名

店の菓子に女性たちは大喜び。のんびりお茶を楽しみ、記念写真を撮って下山する。

岩茸石まで来た道に戻り、岩茸石から直進して滝の平尾根を下る。標高が低くなると、紅葉がまだ残っており目を楽しませてくれる。二つ目の林道を越えた先にベンチがあり、景色が良いのでここで昼食にする。南側に櫓があり、模型のグライダーを楽しんでいるグループがいたが、櫓には立ち入り禁止となっていた。紅葉やグライダーを眺めながら、温かいけんちんうどんやみそピー、おひたし等を美味しくいただいた。



ここからは、尾根をまっすぐ下るだけ。1時間もかからないはずだったが、赤土の滑りやすい登山道に手こずり、時間が掛かった。有間川の橋を渡り、さわらびの湯へ登る道に「十月桜」がちょうど見ごろで疲れを癒してくれる。帰路は狭山S/Aに寄りたいたいとリクエストがあり、峠を越えて青梅ICから圏央道へ入ったが時間的には早く着いた。梶内農園で、ダイコンやミカンなどを採らせてもらい大喜び。沢登りを体験し、新鮮野菜のお土産も付いて充実した山行となった。

